

第4回志布志市松山地域の学校の在り方検討委員会 会議の概要

- 1 開催日時 令和7年4月16日(水)
開会 午後7時00分 閉会 午後7時55分
- 2 場 所 やっちくふれあいセンター
- 3 出席者 委員26名(1名 Web 参加)
- 4 欠席者 委員3名
- 5 出席した職員等
教 育 長 福田 裕生
教育総務課長 児玉 雅史
総務施設GL 橋本 淳二
総務施設GSL 児玉 憲一
総務施設G 竹井 尚紀

◇ 会議の要旨

1 開 会（午後 7 時 00 分）

2 教育長挨拶

3 委員長挨拶

4 協議（午後 7 時 5 分）

委員長

本日の協議事項は 1 件です。「松山地域の学校の在り方に関する検討内容の最終取りまとめ案」について、事務局の説明をお願いします。

<事務局説明>

委員長

このことについて、委員の皆様から質問等ないか。

ないようであれば、それぞれについて検討していきたいと思う。

まず基本方針について、「子供たちにとってより良い学びとなるように検討を進める。検討に当たっては、当事者である保護者の意見を大切にすることを基本とし、教育のまち松山の構築を目指す。」ということになっているが、基本方針はこれでよろしいか。

<委員了承>

委員長

では、今後の方向性について。

まず統合の形態としては、小中一貫校。2つ目の統合後の学校の位置は松山中学校。3つ目の統合の時期は令和11年4月。この3つの方向性についてグループで、しばらく話をさせていただきたいと思う。挨拶でも申したが、保護者としてのいろいろな考えも述べていただきたい。5分ほどそれぞれのグループで、協議をお願いします。

<グループ協議>

委員長

それでは、それぞれのグループで出た意見等をお願いします。松山小学校区からよろしいか。

委員 A

義務教育学校と小中一貫校の縦分けというか、1年から9年までその中身についてしっかりと内容を決めていただかないと、なかなか難しいという意見があった。

また、ここには出てないが小学校の統合だけとなると、親にも子供にもメリットがない。せつかく統合するのであれば小中一貫を望む。そして、耐震のことも含めて、中学校の校舎をつくるなど、環境を整備した上で、送迎までしてもらえるのであれば、賛成できるという意見であった。

委員長

まず、小中一貫の教育課程について、教育内容について、校舎について、それから送迎のことについて、一緒に話し合うのであれば、統合に賛成ということによろしいか。

委員 A

はい。

委員長

それでは、泰野小学校区にお願いします。

委員 B

今後の方向性について、統合の形態、小中一貫校、そして学校の位置についても、松山中学校でよろしい。一番の問題は、3番目の統合の時期であるが、4年後の11年4月とある。統合が決まれば、早めに進めていかないといけない。入札や設計が遅れたら、準備が間に合わないということもあるため、これに間に合うよう、逆算した中で進めていっていただきたいという意見が出た。

委員長

この時期に間に合うように、逆算して計画を進めて欲しいということで承った。それでは、尾野見小学校区にお願いします。

委員 C

尾野見小学校区は、前回、小学校の保護者に対して、3月に説明をするとなっていたため、その状況を保護者代表から話をしていただく。

委員 D

今あったとおり、3月上旬にPTAで、教育総務課から2人来ていただいて、説明会を行った。保護者の約8割強が参加した。この基本方針を説明いただき、質疑応答をしたが、反対意見というのはいなかった。

質疑応答の中では、スクールバスの乗り降りの場所や、通学時間についての不安に関するものがあつた。授業時間が小・中学校で違うので、例えば小学1年生は早く終わるが、中学3年生は遅くまでいるため、この時間差をどのように埋めるのか。PTA運営はどうなるのか。このような質問はあつたが、要望にあるとおり、今後細かいことは保護者や地域の意見を聞きながら、それを落とし込んで、みんなで話し合っていくということで、納得された。その後、同じく3月上旬に尾野見小学校の学校運営協議会もあつたが、その中でも、全員納得ということと

なった。

委員長

尾野見小学校区では、保護者の8割が参加し、保護者の方も、それから、学校運営協議会の方も納得されたということだが、送迎のこと等が気になっているということであったので、松山小学校区からもそのような意見が出たが、事務局はいかがか。

事務局

今協議されている方針等を最終取りまとめとしていただきましたら、教育委員会の方で、どのような形態が良いのかというのを、市長部局とも、市長を含めて協議をしていく。正式に方針が決まったら、議会等に説明し、最終的には、準備委員会を立ち上げ、通学部会、統合までの交流部会など、保護者の方も参画して、それぞれの部会で、どのような形で統合していくのが良いのか、検討を進めていくことになる。その中で意見等を出していただければと思う。

委員長

詳細なことについては、この最終取りまとめで大枠を決めた後、委員会を設置して、そこで保護者の皆様の意見を聞きながら、詳細を決めていくという流れになるということであった。今後の方向性について、承認を得ないと先に進めないということであるため、これでよろしいか。

<委員了承>

委員長

では3の教育環境等に関する要望について、細かなことは今後話をしていくということだが、ここに記載しているもの以外で、このことも検討して欲しいというのがあれば、ここで挙げていただけたらと思う。ここは項目が多いため、今から7分間ほど時間を取りたいと思う。話をしていただき、この中で気になること等を発表していただけたらと思う。それが次の準備委員会に繋がっていくと思うので、よろしく願います。

<グループ協議>

委員長

時間になったので、それぞれのグループから話を聞いていきたいと思う。

松山中学校から願います。

委員E

今回の(3)の統合後の施設の有効活用について話題となった。小学校を有効活用できるような形でというところだが、地域それぞれに思いがあったり、管理の問題があったりする部分があるので同じように、準備委員会ではないが、検討する委員会があったら良いという意見があった。それから、(5)のところでは小学校3

校が顔を突き合わせての授業、あるいは学校行事等で交流をする場を設けたら、中学校に上がってきたときには、スムーズに行くのではという意見が出た。インターネットを使って、テレビ会議みたいな形での授業も考えられるが、できるなら顔と顔を突き合わせた方が良いという意見が出た。場所が離れているので、予算を伴ったりすることがあるかもしれないが、やはり人と人とが顔を突き合わせた方が良いという意見があった。

委員長

校舎の施設の跡地利用についても準備委員会を設けて検討していただきたいということと、それから(5)の交流も、直接、交流ができるような機会を積極的に設けて欲しいというようなことであった。

次に尾野見小学校区に願います。

委員 F

尾野見小学校区は、授業の終了時間が違うこと。登校は一緒だと思うが、終了時間が違うので、その対応はどのように考えておられるのかというのが一つ。それから、事務局の説明の中で、この案が承認されたらさらに検討委員会で進めていくというような話があったが、それを、3番の中に入れるべきじゃないかという意見が出た。その委員会は市が主導なのか、教えていただきたい。よろしく願います。

事務局

授業の時間が違うからスクールバスの運行はどうなるのかについて、スクールバスの運行に関する部会を立ち上げる。具体的には準備委員会の中で検討を進めていくが、その中でこの3番目の5項目について、ここにあるものは、必ず検討していくということになる。対応する部会が必要な場合には、部会を増やして検討していただくということになるので、こちらの内容の方を検討いただきたい。先ほど、中学校から意見が出たが、検討委員会を設けてというところがあったので、追加しておく、準備委員会の中で必ず検討していくことになる。どうしても検討して欲しいことを加えていただくことが、今の段階での協議となる。

準備委員会については、スクールバス部会であったり、交流部会であったり、そういった部会を設置して、市が主体として設置はするが、メンバーについては学校の先生であったりPTAの方であったりとか、その部会の趣旨に合うメンバー構成で協議をしていただき、謝礼金等の支払いは市がしていく形になる。予算の関係で、開催の回数等については、若干制限が出て来る可能性がある。市が主導して立ち上げた協議会の中で、保護者や地域の方の思いや考えを尊重して、協議を進めていきたいと考えている。

委員長

次に泰野小学校区に願います。

委員G

以前PTAのときに保護者に、学校の在り方検討委員会の進行状況を説明したが、その時に、支援学級についてはどうなるかという質問があったので、そのことを伺いたい。(5)の統合するまでの4年間は、中学校及び小学校3校と一緒に活動を行うとあるが、保護者も含めて、又は保育園の年長児だけでも先に、交流の機会があれば良いという意見があった。

委員長

まず、支援学級の設置についてはどうなるのかということ、それから、中学校及び小学校が交流活動をとということだが、それに保育園や保護者の交流も加えてもらえればというような意見でしたが、いかがか。

事務局

支援学級については、現在の学校と変わらず設置されるので、心配されなくてもよろしいかと思っている。交流事業については、おっしゃるとおり、年長園児、保護者を含めて、交流していければ良いと思うので、準備委員会の交流部会の中で、そのような意見を出していただいて、そのような事業に取り組むことができるよう協議していければと思う。

委員長

最後に松山小学校区よろしく願います。

委員H

この5つの項目の他に意見が出たのは、基本方針の中に『教育のまち松山』が掲げられて、まとめにも書いてある。この『教育のまち松山』を実現するために、どう取り組むのか、どうしたいかということを決めないと、ただ目標だけで終わるのではという意見が出た。これも委員会又は部会を立ち上げて、その中身について話し合いを持って欲しい。そして、特別な意見が出まして、学区の撤廃。小中一貫になった場合、学園という形になると思うが、松山地域以外からも入れるような環境を作っていくのはどうかという意見もあった。そして、教育のまちの中で、飛び級とか、いろいろな講師の導入とか、そういう取組も良いのではないかという意見もあった。

委員長

『教育のまち松山』の具体的な姿を明確にしていく必要があるとの意見である。そのためにも準備委員会の中に、検討事項として入れなくてはいけないのではないかと考えが出されている。それから将来的には、学区の在り方、それから各種講師等の活用についても意見が出されたようである。『教育のまち松山』に関

しての具体的な協議を、準備委員会で設けていただくというような形でしていただけたらと思う。では、それぞれ4つのグループから意見を出していただき、準備委員会として具体的に検討していただきたいこととしては、通学のことについて、交流のことについて、今ある施設の今後の活用について、『教育のまち松山』の具体的な姿について、それから校区の在り方についてというのは、その後の話になるかと思う、将来的にはそういうことも検討していかなくてはいけないということ。見てみると、通学のこと(3)に書いてある。それから交流のことは(5)に書いてある。それから、施設のことについては(4)に書いてある。ただ『教育のまち松山』の具体的な目標みたいなものに関してはまだ出てきていないので、そこは準備委員会として必要であろうと思ったところである。

事務局

今委員長からあったとおり、『教育のまち松山』を構築できるよう具体的な施策を検討していただきたいという項目に準備委員会に関する項目を追加したいと思う。それと字句等整理をさせていただくが、(4)に、検討委員会を設置するというものを付け加えさせてもらう。(5)について、先ほど保護者の交流もということだったので、(5)の2行目に、「積極的に児童生徒、園児及び保護者の交流の場を設ける」など具体的に書き加えたい。今、意見をいただいた中では、このように書き加えれば対応できる部会が立ち上げられると考えている。他にここに追加しておきたいこと等があれば、御意見をいただきたいので、よろしく願います。

委員長

今説明では、準備委員会のことも、この3の中に組み入れるということ。それから、『教育のまち松山』の具体的な姿についても検討するというところで、2項目付け加えられました。ただ今の修正案も加味していただいて、これを最終取りまとめとして承認いただけるか。

<委員了承>

委員長

また準備委員会で、子供たちのためになるような学校となるよう、意見を言っていたらと思う。

委員 I

皆さんのこれまでの御尽力により、松山地域の学校の在り方について、保護者又は地域から熱心な協議を経て、建設的な意見が積極的に出された。

今回の検討委員会で、将来を担う子供たちのためにという思いが、「最終取りまとめ(案)」に盛り込まれ、まとめられたことは素晴らしいと思う。例えば、『教育のまち松山』の具体化のことを始め、通学の手立て、施設の利活用、児童生徒に園児や保護者を加えた交流の在り方、諸検討委員会の設置など、良い学校

を設立するために児童生徒、学校、保護者、地域、行政が一体となって取り組んでいきたいという前向きな御意見が多かったと感じた。

今回の「学校の在り方検討委員会」は、学校設立の細やかな要望等を積み上げるのが目的ではなく、骨格や幹といった大きな方向性を定めていただく役割を担っていると考える。完璧であることとは完成形であるということであり、そこには可能性や伸びしろの余地がないことになる。

今後は、具体化された『教育のまち松山』の理念の下、子供たちのためにという視点に立って、具体的なことに知恵を出していただきたいと思う。是非とも、子供たちの明るい笑顔に満ちた学校が設立されることを願う。

委員長

それでは、本日のこの松山地域の学校の在り方に関する検討内容の最終取りまとめ案を承認していただいたので、ここで協議を閉じさせていただく。

ありがとうございました。

5 その他（午後7時50分）

事務局

委員から意見、質問等ないか。

委員J

協議の中であつたが、11年度に向けてという目標について、市として方針が決まった場合、工事等も含めて、どのようなスケジュールを考えているか。

事務局

今後のスケジュールとしては、まだ市としての正式な方針ではないので、事務局方として考えているスケジュールでは、今回の検討委員会の結果を受けて、市長との協議や、教育委員会で協議を行う。6月議会に最終とりまとめを報告する。市の方針が決定したら、松山地域の各地域で説明会を開催する。9月議会に決定した方針を報告し、準備委員会の報酬や基本設計予算を計上する予定で、基本設計で大体半年くらい、その後実施設計となり、1年掛かる。その後2年掛けて校舎の工事という流れとなる予定である。

<事務局から今後の取組について説明>

6 閉会（午後7時55分）